

事務事業名	無線・通信指令施設維持管理事業		所属部局	消防本部	単位番号	13009	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	指令課	課長名	五味 標	
			所属担当	通信担当	担当者名	上野 潤	
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01 名称 一般 款 09 項 01 目 01 細目 030 細々目 11			
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
施策	08	防災体制の充実					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	消防法、消防組織法		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・市民等からの119番通報を適切に受信し、迅速な消防・救急活動を展開するための消防緊急指令施設及び消防無線局の保守点検等の維持管理と、これに伴う指令専用回線の使用料・防災メールの通信料・携帯、IP電話位置情報システムの回線使用料。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)			
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
				消耗品費	708	その他備品購入費	245
				修繕費	0	その他負担金	68
				通信運搬費	2,343		
				手数料	0		
				設備維持管理委託料	3,276	計	6,640

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 消防救急アナログ無線局保守点検業務(年度2回実施) 消防緊急通信指令施設保守点検業務(年度2回実施) 27年度活動予定 消防救急デジタル無線システム保守点検業務 消防緊急通信指令施設保守点検業務(年度2回実施)
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	消防緊急指令施設(システム)及び無線機器。
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・消防緊急指令システムを安定して維持していく。 ・消防・救急無線を使用した通信の確保。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・消防緊急指令システム及び無線機器を安定して稼働させることにより、市民からの119番通報を迅速、確実に受信して、素早い出場態勢を構築していく。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 ア 保守点検回数 イ ウ	単位 回   
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 ア システムに内蔵するPCの数 イ 無線機の数 ウ	単位 台 台  
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 ア システム障害発生件数 イ 無線機故障数 ウ	単位 件 台  
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 ア 119番不通件数 イ 無線機交信不能件数	単位 件 件

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	8,684	8,863	6,640	16,610	17,610	16,610	
		事業費計(A)	千円	8,684	8,863	6,640	16,610	17,610	16,610	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400	400	
		人件費計(B)	千円	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	0
		(A)+(B)	千円	10,504	10,683	8,460	18,430	19,430	18,430	0
活動指標	ア イ ウ	回		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
		台		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
対象指標	ア イ ウ	台		78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	
		件		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
成果指標	ア イ ウ	台		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		件		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
上位成果指標	ア イ	件		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		件		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	・消防緊急指令システムは、平成11年2月の運用開始。(システムの老朽化による更新) ・無線局にあつては、消防本部発足と同時に開始。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	・消防緊急指令システムは、平成20・21年に改修をおこなった。 ・消防・救急無線のデジタル化の工事が、平成26年3月で終了。(平成28年5月31日が期限)
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	導入後10年を経過した消防緊急指令システムを平成20・21年に更新した。 (これに伴い、携帯・IP電話の位置情報通知システムに対応) 庁舎移転にともない、通信指令業務が新庁舎へ移転した。【H22年度】
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	消防救急無線のデジタル化、指令施設のデジタル無線対応改修工事。

事務事業名	無線・通信指令施設維持管理事業	所属部	消防本部	所属課	指令課
-------	-----------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 消防緊急指令システム及び無線設備を最適な状態に維持して出動態勢を整えておくことが、突然の災害等に対する市民生活の安全につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市町村の消防業務は、当該市町村が果たさなければならないこととなっているので、通信指令業務は消防業務を遂行していくための重要な業務のひとつである。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 無線・通信指令施設の維持管理は、市民の安心・安全にとって必要なことであり、維持・管理していくことは適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設の維持管理が目的の事業である為、向上の余地がない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 消防業務の遂行が不可能となる。 消防業務の遂行が不可能になる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設の維持管理を行うことは、市民の安心・安全にとって必要なことであり、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 24時間勤務の態勢は、消防行政を維持していくための根幹であり削減は不可能である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 緊急時の場合は、市民すべてが均一に利用することができる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	消防緊急指令システムを安定して維持し、消防無線通信の確保は妥当であり、今後も維持継続していかねなければならない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 消防緊急通信施設が改修され、消防無線はデジタル無線及びアナログ無線併用にて対応しています。現在、運用技術の向上に努めています。平成28年5月31日までは、アナログ無線も維持管理して行かなければならない。 平成28年度には、アナログ無線局の撤去を予定している。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 消防緊急通信施設が改修され、複雑多様化した災害事案等に対応出来るよう、更なる運用技術の更新を実施して行く。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ③																					